

市民意見等を踏まえた修正

修正 1

<市民意見 NO. 3>

「子ども読書」という名前を「市民読書」「本好き北九州」など市民全体で取り組む名前にしてはどうか。

⇒下線部のとおり、文言（サブタイトル）を追加【冊子表紙】

冊子表紙

旧	新
北九州市子ども読書プラン 《第4次北九州市子ども読書活動推進計画》	北九州市子ども読書プラン 《第4次北九州市子ども読書活動推進計画》 ～ 市民全体で取り組む子どもの読書 ～

修正 2

<教育委員意見>

主な成果と課題について、目標値に対する達成度（評価）が見えない。

⇒下線部のとおり、各指標について「R2の最終目標値」を追加【冊子2ページ他】

2 前計画の取組みの主な成果

旧	新
<p>各施策ごとの主な取組みの成果は以下のとおりです。</p> <p>（施策1）家庭、地域における子どもの読書活動の推進</p> <p>●母子手帳交付とあわせて絵本パックを送る「はじめての絵本事業（ブックスタート事業）」を実施することで、妊娠時から子どもの読書に関心を持ってもらうきっかけづくりができました。</p> <p>《配布率：平成27年度 67.1%→令和元年度 99.0%》</p> <p style="text-align: right;">他</p>	<p>各施策ごとの主な取組みの成果は以下のとおりです。《【<u> </u>】は目標値を表す》</p> <p>（施策1）家庭、地域における子どもの読書活動の推進</p> <p>●母子手帳交付とあわせて絵本パックを送る「はじめての絵本事業（ブックスタート事業）」を実施することで、妊娠時から子どもの読書に関心を持ってもらうきっかけづくりができました。</p> <p>《配布率》平成27年度 67.1%→令和元年度 99.0%【<u>100%</u>】</p> <p style="text-align: right;">他</p>

修正 3

<教育委員意見>

「読書が好きな児童生徒の割合」のH30の数値は突出している。原因を調査し、調査方法などの差異があれば注釈をつけるべき。

⇒下線部のとおり、表の下部に文言を追加【冊子5ページ】

3 本市の子どもの読書活動の課題

旧	新
読書が好きな児童生徒の割合	読書が好きな児童生徒の割合 《中略》 ※H30年度以降は市独自調査（全国学力・学習状況調査に設問がなかったため）

修正 4

<議員意見>

「SDGs」について、目標16「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。」の中のターゲットの1つに、「国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する」。文化の方では、「世界人口の半数は、情報へのオンラインアクセスを持っていません。私たちの知識社会では、図書館がすべての人にアクセスとチャンスを提供します。」と書かれている。これらの趣旨を明記すべきではないか。

⇒下線部のとおり、文言を追加【冊子6ページ】

4 子どもの読書を取り巻く環境

旧	新
○ 世界的な取組みとしてのSDGs	○ 世界的な取組みとしてのSDGs ＜中略＞ さらに、 <u>SDGsのターゲットでは「情報への公共アクセスの確保」が掲げられており、また、新たな学習指導要領では「地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること」が掲げられています。このような視点を踏まえ、図書館を運営していくことが求められています。</u>

修正 5

<教育委員意見>

読書の意義に書かれている「いろいろ体験する」という意味が分かりにくい。

⇒下線部のとおり、文言を変更【冊子7ページ】

《読書の意義》

旧	新
●読書は、「言葉の力をつける」、「いろいろ体験する」、「知らないことを知る」、「他人の考えに触れる」、「自分を高める」など、様々な発見や感動をもたらす楽しいものであり、子ども自身の世界を大きく広げてくれます。	●読書は、「言葉の力をつける」、「 <u>自分ができることを疑似体験できる</u> 」、「知らないことを知る」、「他人の考えに触れる」、「自分を高める」など、様々な発見や感動をもたらす楽しいものであり、子ども自身の世界を大きく広げてくれます。

修正 6

<教育委員意見>

方向性Ⅱ「読書の大切さを知る子どもを増やす」の成果指標「放課後や休日等に学校図書館や地域の図書館を全く利用しない児童生徒の割合」は、逆の指標となっているのではないか。

⇒下線部のとおり、成果指標を変更【冊子9ページ】

【成果指標】

旧	新																		
④放課後や休日等に学校図書館や地域の図書館を全く利用しない児童生徒の割合	④放課後や休日等に学校図書館や地域の図書館を <u>週1回以上利用する</u> 児童生徒の割合																		
【単位：％】	【単位：％】																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元（現状）</th> <th>R7目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学6年生</td> <td>30.1</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>49.7</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>		R元（現状）	R7目標	小学6年生	30.1	28	中学3年生	49.7	43	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元（現状）</th> <th>R7目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学6年生</td> <td>13.3</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td><u>9.5</u></td> <td><u>14</u></td> </tr> </tbody> </table>		R元（現状）	R7目標	小学6年生	13.3	20	中学3年生	<u>9.5</u>	<u>14</u>
	R元（現状）	R7目標																	
小学6年生	30.1	28																	
中学3年生	49.7	43																	
	R元（現状）	R7目標																	
小学6年生	13.3	20																	
中学3年生	<u>9.5</u>	<u>14</u>																	

修正 7

<市民意見 NO. 7>

アンケートで「読書がきらい」や、不読率が高い子どもたちは、本を選ぶことに難しさを感じていると思われるため、サポートの機会を増やすべき。

<市民意見 NO. 37>

学校図書館はあらゆる情報の宝庫であって、それを積極的に提供し、支援すべき（レファレンスサービスの充実）。

⇒下線部のとおり、文言を追加【冊子11ページ】

①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進

旧	新
◆学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」としてより機能し、子どもにとって利用しやすい学校図書館となるよう、学校長、司書教諭、学校図書館職員などの連携強化・資質向上、図書館資料のなど、学校図書館のより効果的な利活用を図ります。	◆学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」としてより機能し、子どもにとって利用しやすい学校図書館となるよう、学校長、司書教諭、学校図書館職員などの連携強化・資質向上、 <u>図書館資料の充実、レファレンス機能の充実</u> など、学校図書館のより効果的な利活用を図ります。

修正 8

<市民意見 NO. 50>

学校では、学級文庫や廊下に絵本を置いたり、学校の暮らしの中に日常的に本がある状態を作れば良い。

⇒下線部のとおり、文言を追加【冊子11ページ】

③授業等を通じた読書習慣の形成

旧	新
◆学校において、一斉読書時間の設定、担任や学校図書館職員、読み聞かせボランティア等による読み聞かせの実施などを通じ、子どもの読書習慣の形成を図ります。	◆学校において、一斉読書時間の設定、担任や学校図書館職員、読み聞かせボランティア等による読み聞かせの実施、 <u>学級文庫など本が身近にある環境の整備の充実</u> などを通じ、子どもの読書習慣の形成を図ります。

修正 9

＜市民意見 NO. 54＞

読書の「バリアフリー」化の推進について、単に蔵書の問題だけでなく、「合理的配慮」についての検討も必要となってくる。

⇒下線部のとおり、文言を追加【冊子12ページ】

①読書の「バリアフリー」化の推進

旧	新
◆特別な支援を要する子どもに向けたマルチメディアデジター図書やＬＬブック、外国籍の子どもに向けた読み聞かせなど、誰もが気軽に利用しやすい市立図書館を目指し、読書のバリアフリー化を進めます。	◆特別な支援を要する子どもに向けたマルチメディアデジター図書やＬＬブックなど <u>アクセシブルな書籍の充実、円滑な利用のための支援の充実</u> 、外国籍の子どもに向けた読み聞かせの <u>実施</u> など、誰もが気軽に利用しやすい市立図書館を目指し、読書のバリアフリー化を進めます。

修正 10

＜市民意見 NO. 65＞

子ども図書館を「学校読み聞かせボランティア」のキーステーションにするべき。子ども図書館が中心となり、読み聞かせボランティアの活動の拡充・人材育成と連携を図る。

⇒下線部のとおり、文言を追加【冊子13ページ】

⑥読書ボランティアなどの育成・支援

旧	新
◆読み聞かせボランティアなど読書に関わるボランティアの育成、連携支援に取り組むとともに、図書館職員の資質向上を図ります。	◆ <u>市立図書館や学校など市内で活動している</u> 読み聞かせボランティアなど読書に関わるボランティアの育成、連携支援に取り組むとともに、図書館職員の資質向上を図ります。